

スパッツ設置にあたって

設置までに現場さんでご用意していただくもの

- ① FC1、FC1W→敷き鉄板 5×20 6枚（用意できない場合は 5×10 12枚）
DC、DCW→敷き鉄板 5×10（9枚）
（別紙鋼板敷設要領を参照）
- ② 上記敷き鉄板をずれない様にフラットバーで溶接
- ③ 上記敷き鉄板をフラットレベルに設置（勾配差 1%以内）
（細かい砕石をひいた上に敷き鉄板を引く）使用期間中に
浸食等により鉄板にバタつきが出ない様にお願いします
- ④ スパッツ本体から前後 10Mずつ（合計 30M）の直線距離を
確保してください

※ 上記①～④は確実に行ってください。設置時に準備出来ておらず、
機械の安全上の問題及び機械の性能発揮に問題があると弊社作業員が
判断した場合は、設置できない場合があります

設置時に現場さんでご用意していただくもの

- ① 設置の為の重機（ラフタークレーン）
（最大重量は約 2,800 kgです）
- ② スパッツ本体のずれ止め溶接（FC1、FC1W→8箇所、DC、DCW→4箇所）
（L75×75 L=100 ミリ程度を本体の隅に敷き鉄板に溶接）
スパッツレベル調整用のライナープレート同士と敷鉄板への溶接
- ③ 湿式タイプの場合は設置後の試運転の為のダンプカーを
1台ご用意ください
（試運転の為には作業当日に給水の準備をお願いします）
- ④ DC 型（乾式後輪型）はご要望が無い限り設置作業いたしませんので
吊ワイヤーを用意してください

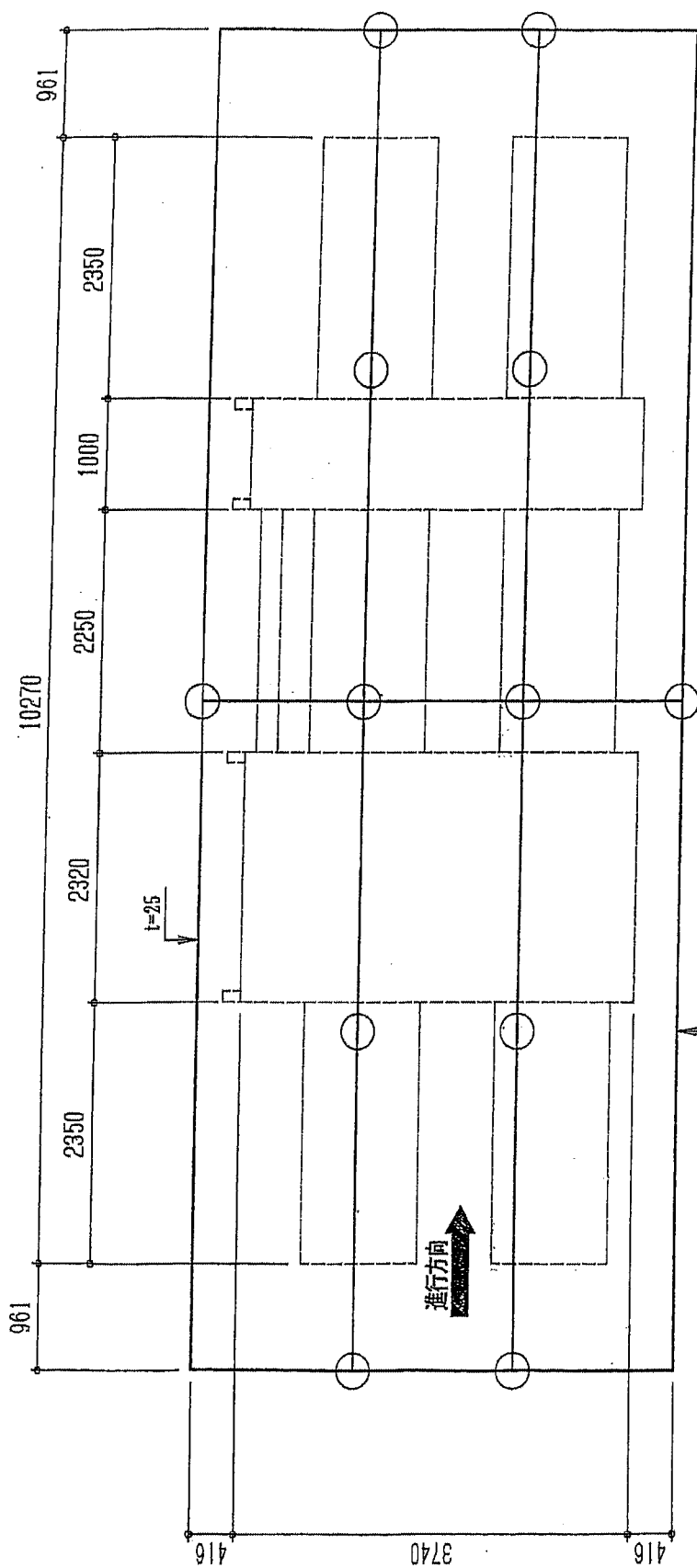
※ 解体時はスパッツについた泥土等を事前に除去してください

※ その他使用及び返却時の注意事項は「監督さんへのお願い」
「運転手さんへのお願い」その他関係書類等を参照してください

兵庫県高砂市中筋字蔵前 384

福田工業株式会社

TEL 079-447-8750 FAX 079-447-8751



注 記

- 1) 点線で示したものはスパツツ本体の外形です。
- 2) 太線は鋼板 (t=25x5' x20') を使用した場合の敷設要領を示します。
- 3) ○印は 溶接箇所 を示します。

図面名	鋼板敷設要領 (基本型)		
型式名	スパツツ全輪型 (FCI・FCIW) 全輪型		
作 図	福田工業株式会社		
縮 尺	1/60	製 図	2001/12/20 第
		図 番	No. TP-01L

設置の条件

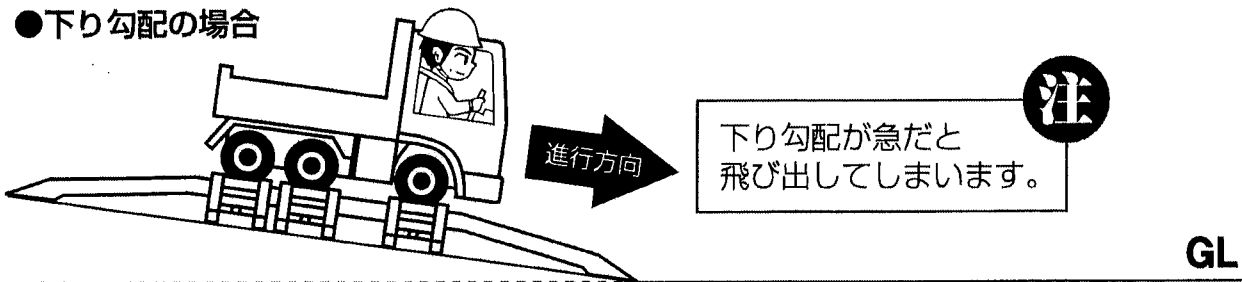
使用禁止事項

- ① スパッツを逆行で通過することは避けてください。
機械が破損する恐れがあります。

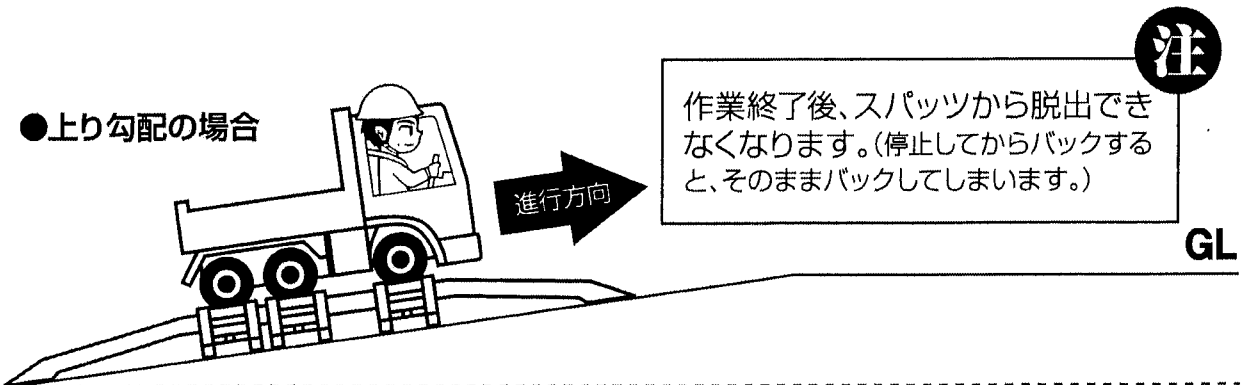


- ② 下り勾配・上り勾配の場所に設置することは不向きです。

●下り勾配の場合

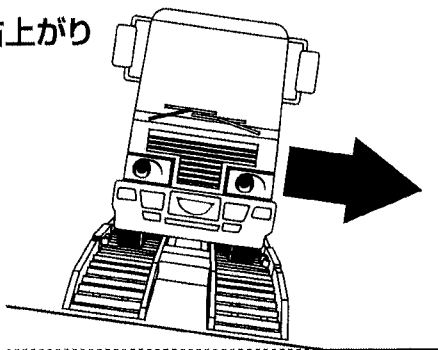


●上り勾配の場合

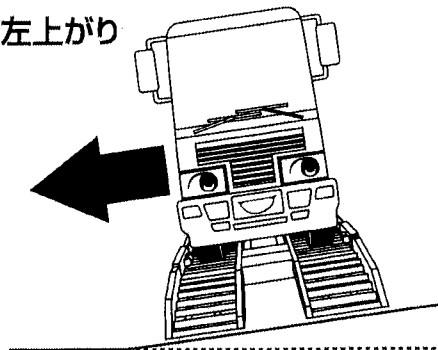


- ③ 左傾斜・右傾斜にも設置することは不向きです。
使用中、左右どちらかに寄ってきます。

●右上がり



●左上がり

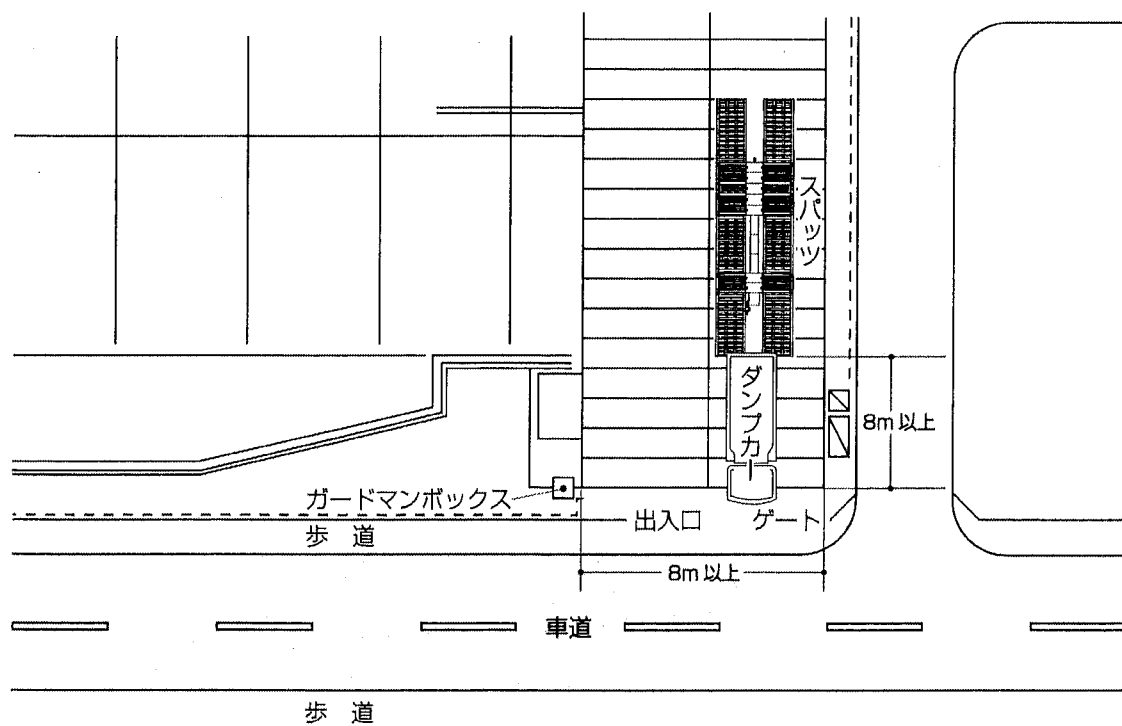


設置の条件

現場での具体例

●安全に「スパッツ」を設置するためには

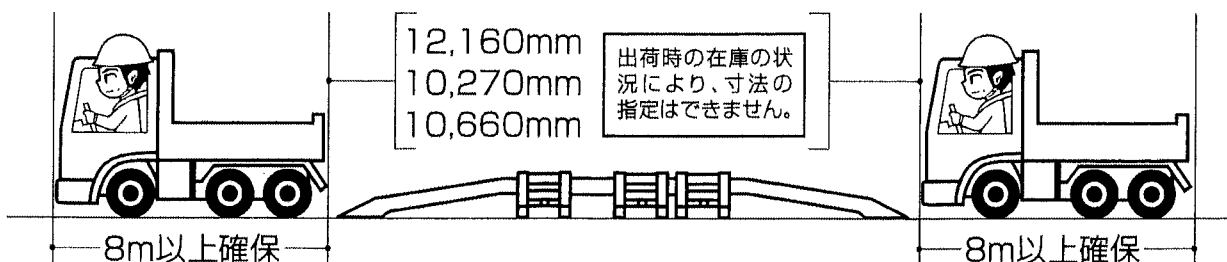
「スパッツ」を設置する位置は、必ず図のように設置くださいますようお願いいたします。出口ギリギリに設置した場合、スパッツから降りた時、ダンプカーは車道か歩道に出てしまい、通行中の車両・通行人の妨げになる恐れがあります。出口側にはダンプカー1台分のスペースが確保できるように設置をお願いいたします。



●スパッツ設置時の前後のスペース

- ① スパッツに乗る前、スパッツに対しダンプカー本体が平行になるように。
- ② スパッツから降りきるまでハンドルは切らない。

※途中でハンドルを切ると脱輪・スロープ破損・ダンプの損傷等の問題が起こる可能性があります。



スパッツを安全にご使用いただくために

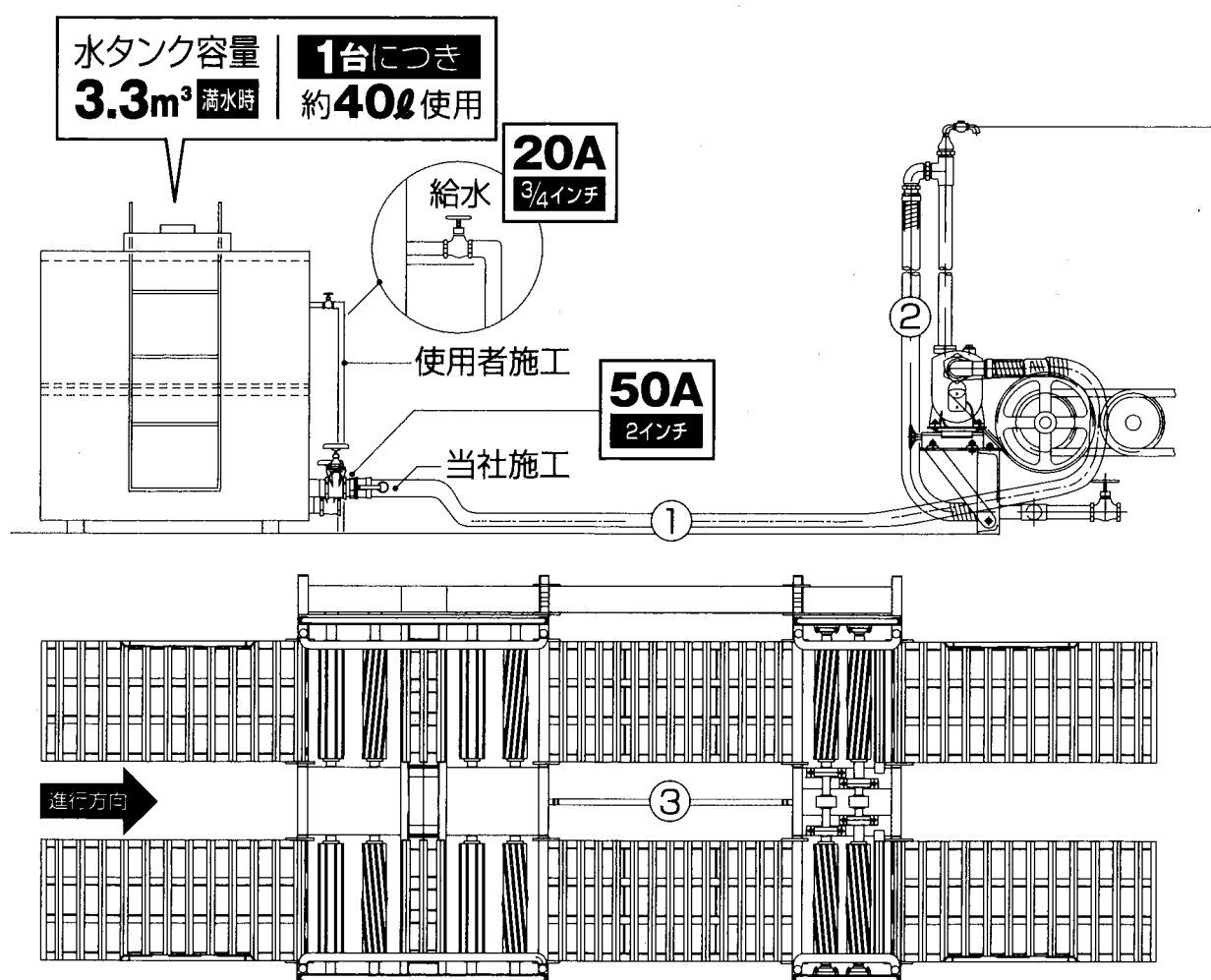
長くご使用いただくためのお願い!

- ① スパッツは、最大積載量10,800kgの国産ダンプカーに耐用出来るように制作されておりますので、法定重量を超えた過積載での使用は、絶対にしないでください。
- ② スパッツの処理能力については、各部品との兼ね合いもあり、1日約250台としております。これ以上の台数を処理する場合は、もう1台必要です。
- ③ スパッツを停止させる時は、**フットブレーキを踏まないでください。**
(アクセルペダルを徐々に放してください。)
- ④ タイヤの溝が極端に減った状態で使用しないでください。
- ⑤ スパッツの下に溜まった泥土は、こまめに清掃をお願いいたします。
(ピロブロックに泥、砂が入りますと故障の原因になります。)
- ⑥ スパッツの設置場所は、必ず**レベル状態**をお願いいたします。
- ⑦ 危険ですので使用中は後方10m以上、前・左右3m以上必ず離れてください。特に後方は石が飛ぶ危険があります。
- ※ スパッツをご使用いただく場合は、上記の安全管理基準を借り主様の責任でお願いいたします。無理な使用は、故障の原因になりますので、遵守のほどよろしくお願いいたします。尚、安全保管基準を遵守されずにご使用になられた場合の故障は、有償となります。予めご了承ください。

湿式型設置の条件

水タンク設置について

- ① タンクから本体ポンプまでは当社にて施工いたします。タンク給水口までは、使用者様にて施工くださいますようお願いいたします。
- ② 本体ポンプより7m以内に設置してください。7m以上の場合は事前にご連絡をお願いいたします。
- ③ 本体と同じ高さに設置してください。
- ④ 給水は水道水をホースにて直結してください。タンク内にはフロートがありますので満水になれば止まります。
- ⑤ 給水車にて給水をする場合は、**1日の台数で給水回数**を決めてください。満タンで**80台**程度使用できます。



湿式型設置の条件

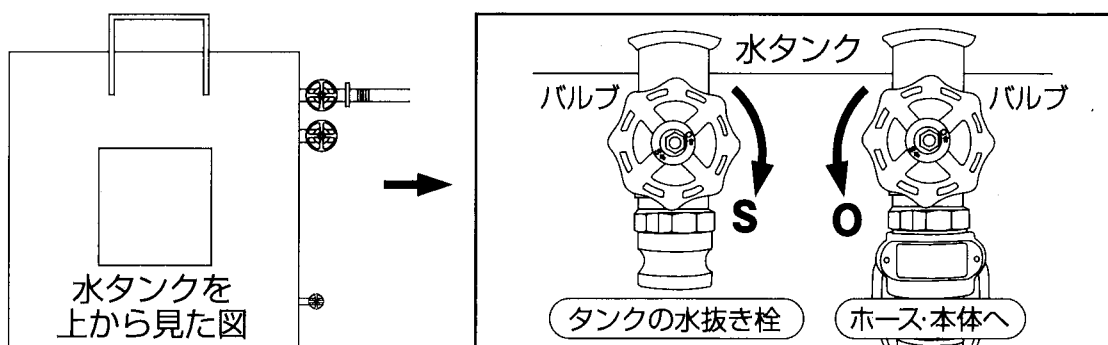
ご使用の前に〈湿式〉

● 取り付け後の水が噴出するまでの手順

- ① 水タンクに水を入れてください。(満水にしてください。)
- ② 各ホースを接続してください。場所については17ページイラストをご覧ください。下記の番号にて図示してあります。

- ① 水タンクの給水バルブとポンプをジョイントしてください。
- ② 立ち上がり部に付いているエルボと本体カプラをジョイントしてください。
- ③ 前・後輪を中央部でジョイントしてください。

- ③ 水タンクにホースをつないでいるバルブを開き、水を本体へ流し込む。



- ④ 装置の上にダンプカーを乗せ、乾式と同じように、空転させてください。
- ⑤ 水がタンクから本体へ送り込まれます。**水が出るまで時間がかかるので、ダンプカーをそのまま水が出るまで空転させてください。**
(出来れば30キロ以上で空転させてください。)
- ⑥ 水が噴出すれば完了です。2台目からは通常使用できます。

スパッツを安全にご使用いただくために

ご使用の前に〈湿式〉

● 作業開始前点検(日常点検)の実施

作業開始前点検(日常点検)は、その日1日の作業を安全に行う為に実施する点検です。スパッツ装置を使用する時は、必ず後述の作業開始前点検を実施してから運転をしてください。

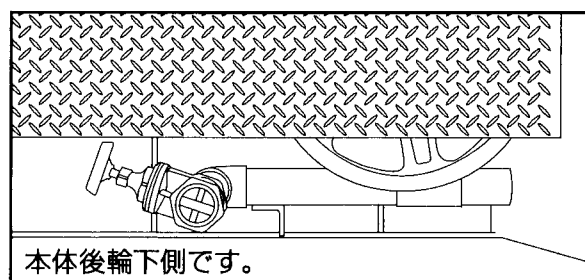
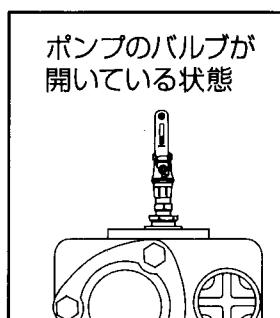
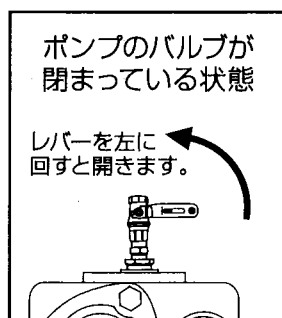
よろしくお願いいたします。

● 運転を始める前に

① 水タンクのバルブを開けてください。

② ポンプの水抜きバルブを締めてください。

③ 本体の水抜きバルブが閉めてあるか確認してください。(配管下側で見えにくい場所です。)



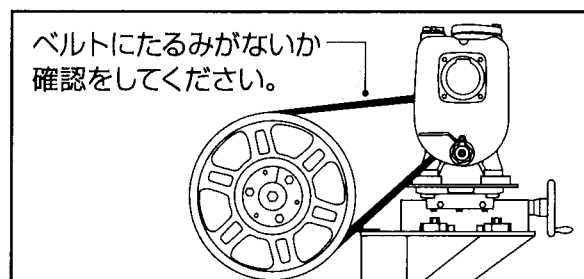
④ タンクの水量を確認してください。タンクの水量が少ない場合は、補給してください。

(ボールタップ仕様では必要ありません。)

⑤ 給水バルブが開けてあるか確認してください。

⑥ 装置上に物がのっていないか確認してください。

⑦ ベルトがたるんでいないか確認してください。



※ローラー上は滑りますので、足元に充分注意してください。

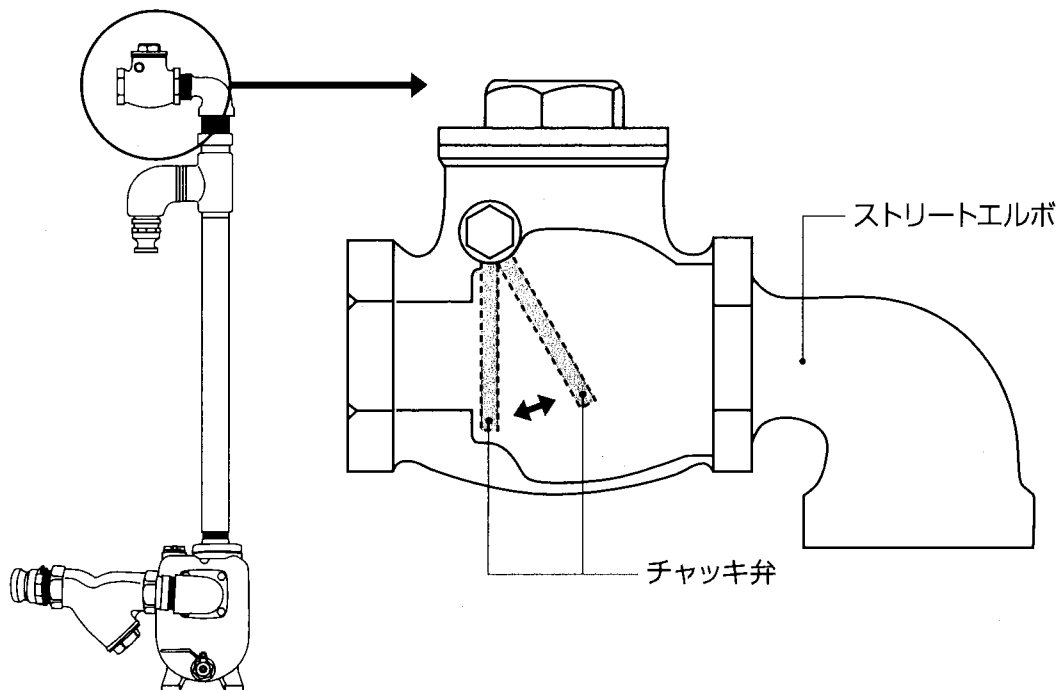
● 泥土排出について

① 処理した汚水は、現場サイドで処理をお願いします。

スパッツを安全にご使用いただくために

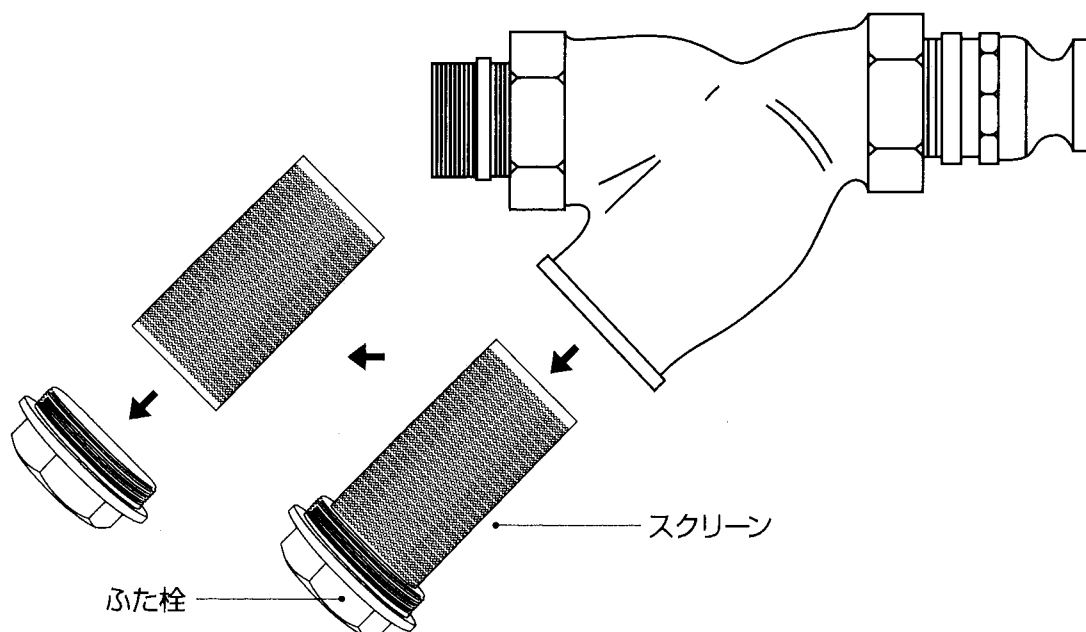
チャッキ弁のメンテナンス

水が止まらない時、または出ない時は、チャッキ弁を何度か軽く動かして、弁が動くか確認してください。



Y形ストレーナのメンテナンス

ストレーナは必ず1週間に1度は図のように取り外して清掃してください。清掃する時は必ず水を出し切り、水タンクバルブを閉めてください。ポンプを取り付けた状態で清掃できます。



スパッツ使用にあたり現場さんでの保守点検項目

- ① 駆動チェーン及び連結チェーンは必ず、毎月1回、グリースアップをおこなってください。チェーン表面が乾いた状態になると、回転時に金属音のような音が鳴り始めます。するとチェーン切れや断絶につながり事故の原因になりますので、必ず実施してください。
(グリースは市販品のもので十分です。)
- ② 湿式タイプは冬期には必ず作業終了後にポンプ及びホースの水抜きをおこなってください。水抜きをおこなわないと夜間、気温が低下した時にポンプ内部・ホース内部の水が凍結し膨張することによってポンプおよびホースが破裂します。破裂しますと部品を交換しなければ使用できませんので必ず実施してください。
(水抜き方法及び復旧方法は別紙凍結防止図参照)

高砂市伊保町中筋字蔵前384番地

福田工業株式会社

TEL (0794) 47-8750 FAX 47-8751

駆動チェーン・連結チェーンのメンテナンス

駆動チェーン及び連結チェーンは、かならず、毎月1回、グリースアップをおこなってください。
表面が乾いた状態になると、チェーンが回転時に金属音のような音が鳴り始めます。すると、チェーン切れや断絶につながり、事故の原因になりますので、かならず、実施してください。
(グリースは、市販品のもので十分です。)

点検

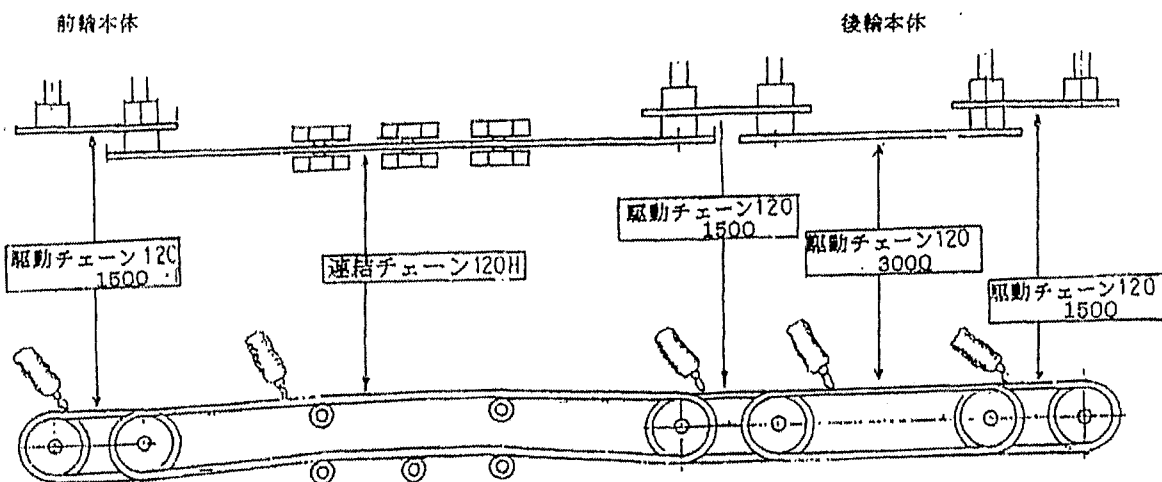
チェーンは、新しい時期には、十分に耐用できますが、古くなってくると、伸びてきますので、それを調整するために、チェーンの中にチェーンオフセットコマ(半コマ)が入っています、これを取り除いて均等なチェーンの長さに調整します。(これをやりませんとチェーンが弛んできますので、チェーン切れや断線したりしますので十分に注意してください。)

連結チェーン・駆動チェーンのグリースアップ

市販のグリースで充分ですので、下記のとおりチェーンへ注入してください。

建設機械等使用するグリースでも、構いません。

グリースアップする時期は、チェーンが回転時に金属音が鳴り始めるころです。
(自転車のチェーンと同じで、チェーンの表面が乾いてきた時におこなう。)



運転手さんへお願い

ダンプカー用泥落装置スパッツ使用上のお願い

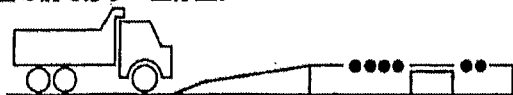
ダンプカー用泥落装置スパッツを御利用戴きましてありがとうございます。最近スパッツの間違った使用が原因と思われる故障が多く見受けられます。故障による工事の中断は工程に多大な影響を与えてしまいますので、再度「スパッツ使用上の注意」を配布申し上げますので、御一読の上「安全作業」の一助にお役立て下さいませよう、お願い申し上げます。

⚠使用上の注意事項

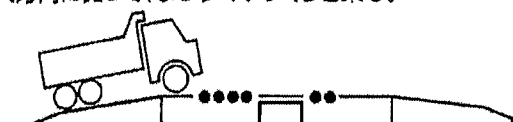
- 1 脱泥作業中にハンドル操作をすると、その方向に移動しますのでおやめください。
- 2 極端なハンドル操作や高速でのハンドル操作、急ブレーキは事故につながり大変危険です。
- 3 車体がスパッツの中央に乗っていない時は低速で脱泥作業をしながらハンドルを少し操作しますと中央に移動できます。
- 4 スピードが遅いと車体が左右に移動しますのでスピードを一定速度迄上げてください。
- 5 ローラーを回した後、絶対にブレーキを踏んでタイヤを止めないでください。必ず自然停止をお願い致します。
- 6 装置から出にくい場合は車体を前後にゆっくりと揺すり、惰性でローラー部から出てください。完全にローラーが停止する前にバックへ操作してもタイヤがスリップしますので、お気を付けください。

ダンプカー用泥落装置スパッツの使用手順

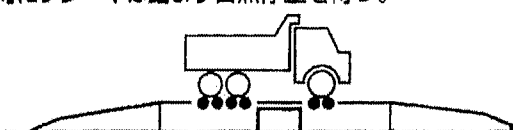
1 装置の前で必ず一旦停止。



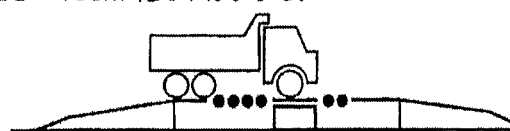
2 進入方向に従って、まっすぐゆっくりと乗る。



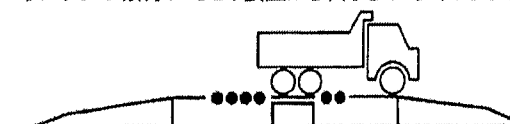
3 ハンドルは、しっかりと保持し、ギヤーを3～4速に入れ、スピードを30km/hまで上げ5～10秒ほど空転させる。絶対にブレーキは踏まず自然停止を待つ。



4 30～40cmぐらいバックする。



5 止まらずに徐行で前へ。(ローラー上で停止するとクラッチのロックが解除になり、装置から降りられなくなります)



6 装置から降りれば、作業完了です。



1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 所要時間 約30秒程度

監督さんへお願い

ダンプカー用泥落装置スパッツ使用上のお願い

平素は、弊社泥落装置スパッツを御利用戴きまして誠にありがとうございます。
最近スパッツの間違った使用が原因と思われる故障が多く見受けられます。
故障による工事の中断は工程に多大な影響を与えると同時に事故にもつながる
危険性が伴いますので、運転手さん用に別紙「スパッツ使用上の注意」を製作
致しましたので配付を、お願い申し上げます。
又、すでに御承知の事とは存じますが「スパッツ使用上のお願い」をお届け致し
ますので再度、作業員方々への御徹底をお願い申し上げます。

 井上鋼材株式会社

機材部
平塚営業所
TEL0463-22-4761
須賀川営業所
TEL0248-72-7192

スパッツ使用上のお願い

- 1** ローラーを回した後、絶対にブレーキを踏んでタイヤを止めないでください。
必ず自然停止をお願い致します。
ローラーが折れる原因となります。
- 2** 1日の処理台数は延べ250台を目安としております。これ以上の台数を処理する場合は、2台目の設置をお願い致します。
- 3** スパッツは下記のダンプカー重量に適合する構造となっております。過積載は故障の大きな原因となりますので御注意願います。
- 4** ローラーの下泥は、こまめに取り除いてください。

標準車輦	
車輦総重量	19,840kg
車輦重量	8,930kg
届出最大積載量	10,800kg

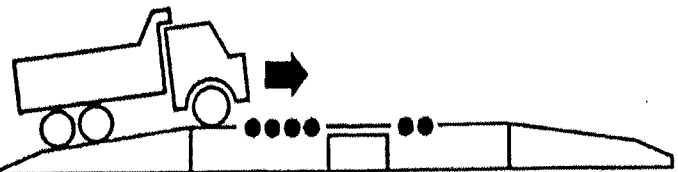
スパッツ®

ダンプカー用泥落装置スパッツの使用手順

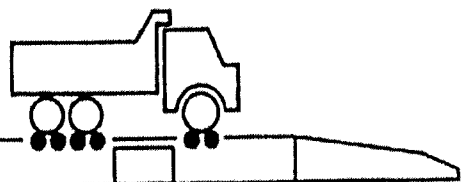
❶ 装置の前で必ず一旦停止。



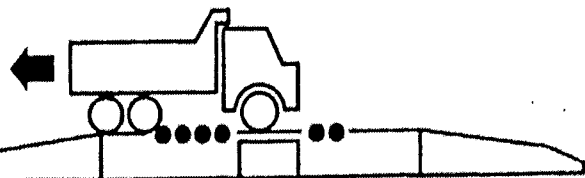
❷ 進入方向に従って、まっすぐゆっくりと乗る。



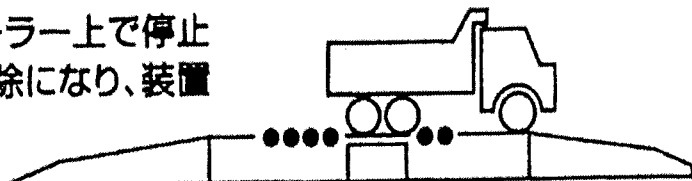
❸ ハンドルは、しっかりと保持し、ギヤーを3～4速に入れ、スピードを30km/hまで上げ5～10秒ほど空転させる。絶対にブレーキは踏まず自然停止を待つ。



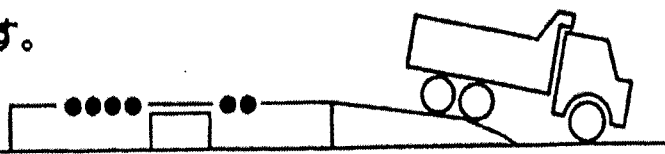
❹ 30～40cmぐらいバックする。



❺ 止まらずに徐行で前へ。(ローラー上で停止するとクラッチのロックが解除になり、装置から降りられなくなります)



❻ 装置から降りれば、作業完了です。



所要時間 約30秒程度